

『臥龍梅』 蔵便り

平成二十六年神無月



拝啓 秋たけなわ、いよいよ日本酒の美味しい季節となりましたが、皆様お元気で過ごしでしょうか。



台北のイベントにて



佐々木酒造蔵元と



蔵入り

今月のご報告することが盛りだくさんです。まず、9/7(日)、東京千代田区の如水会館で開かれた、恒例の**静岡県地酒まつり IN TOKYO**に参加いたしました。わが臥龍梅ブースはいつもどおりの大忙しで、**開場十里香の袋吊斗壇囲い**をはじめ用意した1.8L 壺10数本が閉会予定時の1時間ほど前にすっぴかんになってしまいました。同じこの日、台北でも日本酒のイベントが開かれました。地酒まつりと重なってしまい、代理の方にブースをお願いしての出展ですが、9/6,7の2日間で来場者数が2,000人を超える盛況ぶりだったようです。9/20(土)には市内の料亭**浮月楼**で開かれた**お神酒**を題材にしたトークイベントに参加いたしました。地元静岡新聞社・静岡放送の主催で、京都上賀茂神社の宮司さんのお話、京都の造り酒屋、佐々木酒造の社長さんのお話、最後に地元代表の私が加わって三人で酒造りについて語るという構成でした。佐々木酒造は俳優、**佐々木蔵之介**さんの実家として有名で、長男の蔵之介さんが俳優になってしまったので弟さんが社長を務めているのだそうです。イベントの締めとして、わが**臥龍梅**と佐々木酒造さんのお酒、**聚楽第**を会場のお客様方と一緒にテイastingいたしました。さすが京都洛中唯一の造り酒屋の醸すお酒だけあってなんとも上品できれいな味わいでした。その翌週の9/23(火)には菅原杜氏以下4名の蔵人と本社の神谷君が合流して蔵入りいたしました。蔵人を清水駅まで見送ったのがつい先日のような

気がいたします。今年も新人が2名入社して職務分担を変更し、神谷君が頭の職に就きました。翌日の9/24には早稲品種の五百万石が入荷して早速洗米に着手し、平成26BYの酒造りのスタートです。11月上旬には皆様お待ちかね、**純米吟醸袋吊粟酒の新酒**を発売いたします。今年も必ずや皆様にご満足いただける美味しいお酒をお届けできるものと存じます。その週末の9/27(土)には**望月勇**さんをはじめとする地元静岡の**臥龍梅応援団**の皆さんが臥龍梅のお酒の会を開催してくださいました。商売として酒販さんや料飲さんが催すお酒の会というのはよくありますが、愛好家の皆さんだけが集う会というのはめったにありません。応援団員の皆さんの意気に感じて私も喜んで参加させていただきました。望月さんは静岡市内の酒販さんを探し回って、売り切れで弊社にも残っていない臥龍梅を買い揃えてくださいました。苦心の末の臥龍梅のラインアップをご覧ください。蔵元冥利に尽きる思いです。私も久しぶりに時のたつのも忘れて楽しく飲みました。



今月は好評につき、9月に引き続いて**山田錦55%の純米吟醸の生酒**をご案内いたします。秋の夜長に愉しむのにうってつけの**味のノリ**です。是非ともお試しください。

深まり行く秋、皆様ご自愛ご専一に。

平成26年10月吉日

敬具

鈴木 克昌